

弔吟 故水間充さんのご逝去を悼みなき人をついの別れと弔えど

こころは消えずありし面影

幸男

クレヨン画かき直したい母の顔
肖像画似ても似つかず男前
自画像の方がとつてもいい女
赤ん坊百年先の夢描く

健一
幸男
ちさと

まだそこに温もり残る笑つてる

乃り子

白地図にどんな夢描く呱呱の声

よう子

お人柄にじむ言葉の句を偲ぶ

ミチ

戦時下の子供に未来描けない
晴れの空思い描いて準備する

ひよこ

博学が活きた川柳みつる流

アキラ

デジタル庁管理体制着々と
若者のまぶしい未来まだ白紙

郁子

突然の訃報驚き言葉なく

ひよこ

でかい夢描く鉛筆よく折れる

よう子

再会を神や仏にねだりたく

義雄

不可能と言われ続けた道を行く

健一

喪失感句会くるたび増すばかり

郁子

秀 あれこれと夢を描くがままならず

ひよこ

ひたすらに穩堅誠と友は逝く

千楽

軸 若者が夢を描ける国になる

アキラ

急な訃報優しい笑顔忘れない

きよな

お題「波」(連記) 近藤郁子選

登美

逝きし友偲ぶ句会にセミも泣く

登美

人生の荒波越えて今は風

登美

充さんとの早い別れに言葉なく

よう子

波があるやる気出る日と出ない日と

ひよこ

誠実な笑顔残した充さん

哲子

胸の内さざ波立つときりが無い

えいじ

早過ぎる親しくなったとこなのに

健一

波のりはお上手世渡りはど下手

ちさと

慌てん坊なんで俺より先に逝く

えいじ

終着点波風立てずもう少し

乃り子

お題「元氣」互選

幸男

北陸の真冬の海を襲う波

ミチ

③から元氣歳相応に見透かされ

幸男

船よりもマストが先の波しぶき

正清

夢中になれるものがあるからまだ元氣よう子

英二

速すぎる時代の波に追い付かず

基弘

他人様にもらう元氣はシャボン玉

基弘

潮騒を聞く神島へ夏の旅

幸男

夏バテに蝉の元氣をもらいたい

基弘

悪あがきで寄る年波と勝負する

広子

元氣そうと言われ元氣をもらってる

郁子

もう逢えぬ人を波間に呼んでみる

よう子

時効などあるはずもない片思い

ちさと

波しずか月の光の写る磯

きよな

元氣かとサプリメントが声かける

幸男

岡田丸アレを目指すも波高い

アキラ

朝の餌取り合うメダカよし元氣

ミチ

今日の氣はバイオリズムに任せます

哲子

まだ誰かの役に立つことあるうちは

郁子

秀 震度七人生変えた十二秒

健一

今日も又駅まで歩く元氣あり

ひよこ

軸 襲いくる熱波災禍は地球規模

郁子

元氣だぞ病院ハシゴ皆勤だ

千楽

お題「まるで」(共選) 小妻健一選

幸男

④ありがとういつも元氣をくれる友

ミチ

どちら似か双子のような母と子と

幸男

元氣かと問われて母の作り笑み

広子

鼻ほじる孫は息子と瓜ふたつ

哲子

雑草のしげった庭の蚊が元氣

よう子

双子のよう母とよく似た若い頃

きよな

元氣なうちに施設吟味と断捨離と

アキラ

蓮の葉の成長を見る親のよう

ひよこ

⑤画面からはみ出す未来描く子たち

哲子

クラス会まるで馴染めず壁の花

基弘

秀⑧胸踊る予定で埋まるカレンダー

健一

リニューアル古い面影一ミリも

乃り子

秀 包丁の音やかましい母の朝

広子

映画のように戦争のニュース見る

アキラ

お題「描く」野々村アキラ選

基弘

炎天下あたかも脳の地獄絵図

正清

歳行くと描く世界に変化あり

ミチ

マスク取り化粧ほどこし誰だっけ

登美

ミニチュアの理想の家を作ろうか

登美

宇宙での家庭生活どんなかな

登美

チャットに頼む秀句ばかりで奥がない 乃り子
夏なのに冬を思わず霜が降り 登美
気付かないふりの笑顔にすぐわれる よう子
思い出を紐解くように聞く弔辞 よう子
秀 シヤネル着てメイクも決めてケアハウス広子
軸 同窓会終わる頃には十五歳 健一

お題「まるで」(共選)原 広子選

ハンパない投打の技は劇画超え 健一
思い出を紐解くように聞く弔辞 よう子
三面記事見てきた様に話す友 哲子
クラス会まるで馴染めず壁の花 基弘
道の駅まるでランチのケアハウス 正清
ジャニーズ系まるで見分けがつきません郁子
しごきやな日照りの中をゴルフとは えいじ
映画のように戦争のニュース見る アキラ
チャットに頼む秀句ばかりで奥がない 乃り子
同窓会終わる頃には十五歳 健一
マスク取り化粧ほどこし誰だっけ 登美
蓮の葉の成長を見る親のよう ひよこ
鼻ほじる孫は息子と瓜ふたつ 哲子
気付かないふりの笑顔にすぐわれる よう子
秀 気のゆるみ見ていたようにコロナ増え ひよこ
軸 シヤネル着てメイクも決めてケアハウス広子

自由吟 自選

赤ちゃんも子猫も無事に育つ国 義雄
待ち侘びる追っ掛けしたくなる総理
シールはる時間定めて行く女房 基弘
人間は作った物で滅び行く

年に一度の土用のうしもまだ迷う 乃り子
お昼ピザスマホで頼む母傘寿

一心にきたえた骨に穴があく ちさと
折半にしてご遺灰の重い方

大谷を褒める言葉が底をつき 健一
強引に侵攻続け仲間割れ

エンパシー教育平和への道に 郁子
波長合う友と重ねてきた時間

残生にやたらと多い句読点 よう子
雑学も積もれば厚い人間味
ずぶぬれの薪妬心が火をつける 正清
ゼロよりも下が気楽に生きられる

ひよこ

七夕のような単身赴任です
今年もねあのお店だよかき氷

生きている実感はじけ十八番歌

服選びこれも楽しいバスの旅

ミチ

外野席口出しするな囲碁将棋 登美
くやしさを笑顔で返す強かさ

なるようになると思えば楽な日々

酷暑日はエアコンつけて大相撲

アキラ

地球にも賃料払うときが来た 広子
にこやかに背く姿は義母譲り

七割の失敗しても名選手 英二
長靴を買った翌日梅雨が明け

顔見ても名前が出ない普通だろ えいじ
口出して思わず焦るいくらでも

凄雨地球追い込む温暖化 哲子
彦星の思い変わらず光りおる

どしゃぶりの梅雨の様子が変わる今 きよな
体操帰り小さいうちわの風がいい

勉強会 お題「くすぐる」

思い出をくすぐる君の手の温み きよな

装丁に心誘われ繰るページ 郁子

お似合いです売り子の言葉信じたい 郁子

怒るだけ叱れなかった親だった 千楽

お世辞とはわかっていても頬ゆるむ ひよこ

甘党の心くすぐるかき氷 ひよこ

赤ちゃんの頬くすぐる日いつ来るか ミチ

叱らないでね褒められ結果出すタイプ 健一

次回勉強会 *ご無理なく、自由に参加ください
八月十日(木) 十三時〜 いきいきホール1F
お題「まさか」詠み込み不可 二句
アキラ迄事前投句して参加してください

*事前投句の時に欠けをご連絡ください

推薦十句 田中 薫選 句会結果掲載順
画面からはみ出す未来描く子たち 哲子
胸踊る予定で埋まるカレンダー 健一
宇宙での家庭生活どんなかな 登美
でかい夢描く鉛筆よく折れる よう子
襲いくる熱波災禍は地球規模 郁子
気付かないふりの笑顔にすくわれる よう子
思い出を紐解くように聞く弔辞 よう子
ゼロよりも下が気楽に生きられる 正清
なるようになると思えば楽な日々 アキラ
お似合いです売り子の言葉信じたい 郁子
奈良番傘川柳会 会長田中 薫

八月句会、猛暑につき、誌上句会に変更します

八月句会(誌上句会)

八月二十一日 一七時必着

メール又は封書でアキラまで投句

「駅」義雄 「花火」(連記) えいじ

「吹く」きよな 「ゆらり」(共選) 基弘 乃り子

自由吟(自選・記名・連記) 各二句

日頃思うことを、五七五で詠んでいます。

五七五 詠んで恥かき 汗もかき

新入会員大歓迎 新入会員向け勉強会実施中
入会金不要 月会費百円

お問い合わせ *お電話ください 資料持参します

原 広子 79・0061

野々村アキラ090・6961・1292